

# 摂食・嚥下障害

— 飲みこみの障害 —

どんな症状ですか？

- ・食事中によくむせる
- ・形があるものをかんで飲みこめない
- ・食事に時間がかかる、疲れる
- ・食後に痰が出る、ガラガラ声になる
- ・飲みこんでも食べ物が口の中に残る
- ・食べ物がつかえる

などで嚥下障害に気が付くことがあります。また、嚥下障害により食事が上手くとれないために、**体重が減る、低栄養や脱水**をおこす、**飲み込んだものが気管に入る**（誤嚥する）、**飲み込んだもので窒息する**、ということもあります。

原因は何ですか？

脳血管障害（脳梗塞・脳出血）による麻痺や、神経・筋疾患、また加齢による筋力の低下などが主な原因です。

診断方法は何ですか？

## ● 嚥下造影検査（VF）

X線透視下で造影剤（バリウム）を入れた検査食を飲みこみ、口からのど、食道を食物がどのように通過するか、誤嚥の有無などを確認します。

## ● 嚥下内視鏡検査（VE）

鼻から入る細くて柔らかいファイバースコープでのどを観察します。のどが痰で汚れていないか、食べ物が上手く飲みこめているかなどを調べます。

治療方法は何ですか？

食べる姿勢や食べ方、食事の調理方法を変えるだけで、症状が改善することもあり、そのような場合には、摂食指導を行います。飲み込む力が弱い場合には、言語聴覚士によるリハビリをします。

どのようなリハビリですか？

## ● 間接訓練（食べ物を使わない訓練）

顔面の運動、アイスマッサージ（氷でのどを刺激）、頭部拳上訓練（のどの筋肉をきたえる）など、一人ひとりに合わせたプログラムを行います。

## ● 直接訓練（食べ物を使った訓練）

食事時の姿勢や食べ方、食形態の検討をします。

## 入院までの流れ

①まずはこちらへご連絡ください

自靖会親水クリニック

医療連携課 TEL 03-5661-3872

②面談・入院日の調整

③1日目（入院日）

一般検査（採血・心電図・胸部X線等）  
昼食時に言語聴覚士による嚥下評価  
施設案内

④2日目（退院日）

VF検査  
自主トレーニングの指導

⑤ご自宅で自主トレーニング

⑥1か月後

再検査（VF）のため入院

⑦結果により希望があれば入所